

黒潮町地区防災計画シンポジウム

11月2日(土)午後1時30分から、総合センター(佐賀)で「第10回黒潮町地区防災計画シンポジウム」を開催します。

第10回目となる今回は、自主防災活動のこれまでの振り返りや、これからの取組をテーマに開催します。

※詳しくは、チラシなどで追ってご案内します。



第9回シンポジウムの様子

夜間津波避難訓練

地区防災計画シンポジウムの同日午後7時から、夜間津波避難訓練を実施します。

地震発生をお知らせする緊急地震速報が、町内放送や告知端末から鳴りますので、シェイクアウト訓練(身を守る行動)として、低い姿勢で頭を守り、揺れが収まったら安全の確認をして避難してください。

夜間の訓練のため、避難時は懐中電灯や反射するものを身に着けて、安全を優先して参加するようにお願いします。

今年は、台風の影響により総合防災訓練が中止になりました。1人でも多くの夜間津波避難訓練の参加をお待ちしております。

NIPPON防災資産に優良認定されました

内閣府と国土交通省が「NIPPON防災資産」の制度創設後、初めて22件(優良認定11件、認定11件)を認定し、このうち黒潮町の防災ツーリズムが優良認定されました。

この制度は、認定された防災資産を通じて、住民一人ひとりが過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、災害リスクの自分事化を図るとともに、主体的な避難行動や地域の防災力のさらなる向上につなげることを目的としています。

<選考委員会での選定理由>

避難行動をとれば助かるという意識改革(津波避難放棄者ゼロ)に向けて、官民が一体となって防災のワークショップを何度も繰り返しながら、浸水区域内の全町民の避難カルテを作成し、それに基づいた避難道や津波避難タワーの建設、避難訓練に取り組んでいる。防災ツーリズム(宿泊型夜間避難プログラムなど)を通して、自ら考え行動する力を身につける防災学習の場を提供している点が特に優れている。

